

5. 自治会加入促進の進め方

自治会に加入していただくためには、訪問前の準備と的確な加入の働きかけを行うことが重要です。

（１）呼びかけの手順

自治会への加入を呼びかけるには、まず未加入世帯の状況を把握し、説明のための資料を作成するなどの事前準備を行うことが必要です。次に挙げる各ポイントを確認し、効果的な加入促進を実践しましょう。

①未加入世帯を把握しましょう

新築の分譲地、マンションなどの情報を収集し、転入者の状況を把握しましょう。

マンションなどの集合住宅については、家主や管理会社を把握しておきましょう。



家主や管理会社がわからない場合は、まず近隣の会員や管理人などに聞いてみましょう。



②自治会の役割を再確認しましょう

自治会の役割を再確認し、役員間で認識を共有しましょう。（4ページ参照）

自治会活動内容の一覧を作成しておきましょう。

自治会への加入の呼びかけには熱意を持って、臨むようにしましょう。



想定される質問に答えられるように、Q&A(21～24 ページ)を参考に事前に準備しましょう。

③訪問時の説明資料を準備しましょう

挨拶状・勧誘文書（31～32ページ）・入会申込書を作成しましょう。

総会資料（自治会の活動内容がわかるもの）などを準備しましょう。



イベント案内チラシなど自治会の活動が具体的にわかる資料を用意するとより良い説明ができます。

(2) 訪問方法

訪問する際は、自治会への加入を強制するのではなく、一人ひとりの力が地域づくりを支える力となることを伝えることが重要です。自治会加入の必要性を理解してもらい、自発的に加入してもらうことが望ましいです。

①訪問人数

2～3人（可能な限り役員が同行しましょう）



数名で訪問する際、女性も同行した方が相手の受ける印象もやわらかいため、話を進めやすくなります。

②訪問時期

新規転入者の場合・・・居住開始後に間を置かずに訪問

既居住者の場合・・・イベントなどの開催に合わせて訪問



新規転入者への訪問は、できるだけ入居後1週間以内に行うようにしましょう。

注意

自治会にあまり関心のない方の場合は、積極的な訪問・勧誘を行うことで距離を置かれてしまい、逆効果となる場合があります。無理な訪問・勧誘はせず、地域イベント等への参加を促し、まずは地域に馴染んでもらうよう心がけましょう。

③訪問時間帯

相手の対応可能な時間帯を考慮しましょう。
(夜の訪問はなるべく控えましょう)



休日の午前中はゆっくり休んでいることが多いため、訪問を避けた方が良いでしょう。

④訪 問

初回訪問時

自治会に関する簡単な説明にとどめ、加入を勧めます。加入を断られても、まずは、資料を受け取ってもらいましょう。(初回は5分程度で済ませるようにしましょう。)

2回目以降訪問時

1週間程度時間を置き、改めて資料を持参して説明し、加入を促します。加入を断られても、イベントの度に案内書を持参して参加を勧めましょう。また、訪問する人を替えるなどして、継続したアプローチを心がけましょう。



不在時は資料を郵便受けに投かんし、後日改めて訪問するようにしましょう。

⑤ 持っていくもの

〔新規転入者の場合〕

- ・挨拶状
- ・加入促進チラシ（ノベルティグッズ）
- ・入会申込書
- ・総会資料（会則・自治会の活動内容など）
- ・イベント案内チラシ
- ・自治会の区域図
- ・その他各自治会独自の資料
（地域ならではの伝統に関する資料など）

〔既居住者の場合〕

- ・加入促進チラシ（ノベルティグッズ）
- ・入会申込書
- ・総会資料（会則・自治会の活動内容など）
- ・イベント案内チラシ
- ・その他各自治会独自の資料
（地域ならではの伝統に関する資料など）



新しく転入してきた世帯は、地域の公共施設や医療機関、災害時の避難場所などの情報を十分に持っていません。それらの情報を得られる地図や案内を配布すると、自治会に関心をもってもらうきっかけになります。



子どもがいる世帯には、お祭りなどの行事や見守り活動など、子どもとのつながりを活かした案内をすると効果的です。